

# 高岡ロータリークラブ

会長／田中 哲 幹事／山口 洋祐



2024/12/12

No.23

例会日：木曜日 12:30~13:30 創立：1951/11/15 チャーターナイト：1952/4/15 創立順位：No.68

司会 車 会場監督 点 鐘 田中 会長  
国歌斉唱

ロータリーの目的／四つのテスト  
ゲスト並びにビジター紹介

〔米山奨学生〕  
バタラチ アマルバヤスガランタ 君

会長挨拶／報告

- 誕生祝
  - 二口 真 さん (12/12・62才)
  - 勝山 英和 さん (12/14・58才)
  - 中山 士門 さん (12/18・46才)
  - 飴谷 清 さん (12/19・83才)

■米山奨学生アマラ君に奨学金のお渡し  
…アマラ君より一言

幹事報告

- 2 番テーブルミーティング  
⇒本日 19:00~ マリアージュ  
(送迎タクシー利用はHNオータ二高岡 18:30 発)

委員会報告

- 雑誌委員会…ロータリーの友紹介(竹田委員)

## ニコニコBOX 10件 34,000円

田中会長／昨日、次女に 2 番目の男の子が誕生。外孫 3 人目です。長男が陸翔なので次は海翔かと言ったら自衛隊か！と怒られました。

才高副会長／アマラ君、卓話よろしくお願ひします。  
山口幹事／先日、麻雀大会の下見も兼ねて、麻雀をしました。柳澤親睦委員長に国土無双を振り込んでいただきました。久々の麻雀とても楽しい時間でした。柳澤さん、ありがとうございます。

室崎君／アマラ君、今日のスピーチ楽しみにしています。

柳澤君／アマラ君、卓話を楽しみにしています。次週年末パートナー同伴例会です。よろしくお願ひいたします。

山本(毅)君／韓国ではユン・ソクヨル大統領が戒厳令を出し、わずか 6 時間後に撤回に追い込まれました。弾劾決議は否決されましたが、野党「共に民主

党」は 毎週弾劾決議を提出すると言っており、反逆罪の捜査が始まるなど混乱状態に陥っています。ユン大統領に取って代わろうとしている野党のイ・ジエミョン代表は、日本を敵性国家だと公言しており、また、日韓対立に戻ることは避けられません。我が国がレーダー照射問題、『慰安婦』問題等に目をつむってまで関係改善に努力したことが水の泡となります。朝鮮の近代化に尽力した福沢諭吉が絶望して『脱亜論』を唱えたとおり、我が国は韓国などあてにせず、防衛を考えなければなりません。ところで、石破首相は慶應大卒ですが『日本の恥』とまで言われ、『慶應ボーイ』の洗練されたイメージを傷つけてしまいましたね。

四津谷君／先週は東京へ出張に行っていたので欠席いたしました。木曜日は東京国立博物館で「埴輪展」を見学。元々前田家が菅原姓を名乗りましたが、元々は土師氏の流れ、つまり埴輪を作る家だったので。石工ではありませんでした。古代に王族が亡くなると近習は殉職したのですが、それを良しとせず埴輪に替えて埋めたわけです。それが「はじ」では語呂合わせが悪いので、出自の地名から菅原と名乗ったそうです。ただ、先週の目的は国会議員に文化財予算の陳情で橋先生、堂故先生、野上先生等に陳情に行きましたが、奇跡的に橋先生とお話できました。長年、石破さんに付き添ってご苦労されておられたことが日の目をみて、今は副官房として石破さんの後ろについて頑張っておられます。色々ご批判もあるかと思いますが、温かく見守ってください。あ、因みに田畑さんは秘書がいらっしゃいましたが、ほぼ居留守状態でした。

山岡君／私の永遠のマドンナでございました中山美穂様のご逝去されました。大変ショックで未だ立ち直れずにおります。毎度お騒がせします等の名作は日本の少子化に有効なのは？中山美穂さんの心よりのご冥福をお祈りします。

車君／師走とは、お坊さんが忙しく走り回るこのことです。借金取りに追われているわけではありません。お坊さんがマラソンをしているわけでもありません。年末は葬儀法事が多いからだそうです。

加茂君／本日、都合により早退します。

## <プログラム> 米山奨学生卓話

### 「モンゴルのこと」

バタラチ アマルバヤスガランタ 君

富山大学医学部の修士課程で学んでいます。母国モンゴルの自然、文化、そしてそこに生きる人々の素晴らしさについてお話ししたいと思います。

モンゴルには、私たちが普段あまり目にしないような壮大な自然があります。広大なステップ(草原)がどこまでも続き、川や湖がその中を流れる景色は圧巻です。しかし、冬には気温がマイナス40度から50度になることもある厳しい環境です。それでも、そこに暮らす人々や動物たちは、この自然と調和しながら生きています。伝統的な生活様式の遊牧民たちは、季節ごとに住む場所を移動し、自然のリズムに合わせて暮らしています。羊やヤギなどの動物たちは彼らの暮らしの中でとても重要な存在であり、これらの動物と共に生活することで、自然の厳しさを乗り越えています。

遊牧民が使うゲルという移動式住居は簡単に組み立てたり解体したりできるだけでなく、暑さや寒さを和らげる仕組みがあり、自然環境に非常に適した構造をしています。馬頭琴などの伝統音楽や手工芸が生活の中で息づいているのも特徴の一つです。革細工や金属細工といった伝統的な技術が今も受け継がれ、現地の文化を支えています。モンゴルの人々は家族や隣人とのつながりをとても大切にしている、訪問者を迎えるおもてなし文化は特に印象深いものです。

モンゴル北部には国内最大の淡水湖、フブスグル湖があります。透明度の高い豊かな自然に囲まれた湖で、「モンゴルのスイス」と呼ばれ、観光地として人気があります。西部にはアルタイ山脈が広がり、標高4374mのタバンボグド山群など広大な山岳景観を楽しめる登山やトレッキングの名所になっています。

私は、モンゴルでの生活を通じて学んだことを研究に生かしています。この地では、自然と人間がどのように共存しているのか、その答えが見つかるように感じています。厳しい環境の中でも調和を保ちながら生活を続けている人々から、多くの知恵を学ぶことができます。この知識や文化を未来に伝えるために、私自身ができる限りのことをしていきたいと強く思っています。

高岡ロータリーの皆さまに、貴重な経験をさせていただいたことに心から感謝の気持ちを伝えたいです。私を支えてくださった友人や家族、そして出会った全ての方々、本当にありがとうございます。これからもこの学びを活かしていきたいと思っております。

## <12/12 2番テーブルミーティング>

場所：マリアージュ



## <安部龍太郎先生の出版記念サイン会>



※利長公シンポジウムⅡの講師である直木賞作家の安部龍太郎先生の「銀嶺のかなた」の出版記念サイン会に行ってきました。 2024/12/15